

人間社会学部

試験問題冊子

(A日程 2月1日)

国語

注 意

- ① 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開かないこと。
- ② 問題冊子に落丁、乱丁があった場合は、試験監督者に申し出ること。
- ③ 試験監督者が試験開始の指示をしたら、ただちに解答用紙の所定欄に、受験番号を記入し、マークすること。
- ④ 解答は全て解答用紙に記入すること。
- ⑤ マーク式解答欄および裏面の記述式解答欄の指定された箇所以外は使用しないこと。
- ⑥ 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

注意 解答はすべて各問の下端の 内に指示された解答欄にマークまたは記入すること。なお、解答欄のうち、この試験で使うのは、マーク式解答欄の 1 14、記述式解答欄の A J のみである。

問題 1 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

著作権上の理由により、ホームページでは公開しておりません。

著作権上の理由により、ホームページでは公開しておりません。

著作権上の理由により、ホームページでは公開しておりません。

問1 傍線部1、3の漢字のよみをひらがなで、傍線部2、4、5のカタカナを漢字に直して、それぞれ記述式解答欄に記入しなさい。

1 [A] 2 [B] 3 [C] 4 [D] 5 [E]

問2 傍線部ア「こうしたイメージを、それは『記憶』であると言いかえてしまうことはできない」とあるが、筆者がそう考える理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

[1]

① ながい間忘れていた幼少期のイメージが思い出されることがあるから

② 心の中に蓄えられたイメージは、常に活動してその人の行動を支えるから

③ 五感にうったえるさまざまなことが、知覚を形づくりイメージとして保存されるから

④ 知識として与えられたことすべてがイメージとして蓄積されているから

問3 傍線部イ「いわばイメージ・タンクである」の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

[2]

① 人間は経験したことだけを自在にイメージとして蓄えていける。

② 人間は視覚的、聴覚的、触覚的なイメージを蓄えているが、嗅覚や味覚的なイメージは蓄えられない。

③ 人の心の中にはこれまで経験した知識や記憶、感覚を含めた多種多様なイメージが詰まっている。

④ 身体的なイメージと精神的なイメージとは別のものとして一人の人間の中に蓄えられている。

問4 空欄 [a]、[b]、[c]、[d] に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

[3]

① a 社会と人間関係の b 「事」の

c 自己に関する d 歴史性、伝記性の

② a 自己に関する b 「事」の

c ヒトとなり d 歴史性、伝記性の

③ a 社会と人間関係の b 歴史性、伝記性の

c ヒトとなり d 「事」の

④ a 文化の b 歴史性、伝記性の

c 自己に関する d 「事」の

問5 傍線部ウ「食物を外界から無理に食べさせられるとは思っていないのと同じである」とあるが、筆者がここで表そうとしている「イメージのつくりかた」として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

4

- ① 受動的に外的世界から求められるようにイメージをつくる。
- ② 自分の資質に応じて積極的にイメージをつくる。
- ③ 外界からの要求に無理にでも応じて食べ物を食べるようにイメージをつくる。
- ④ 自分の消化能力を考えて、それを上回るようにイメージをつくる。

問6 傍線部エ「象徴」の意味として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

5

- ① 多くの物や事柄の概念からそれら全部に特徴的な属性を抜き出して分散化したものの
- ② 人間の力や自然の力を越えた存在への尊敬の観念を体系化したもの
- ③ 内容があいまいで捉えにくく明確でないもの
- ④ 抽象的な思想や概念などを具体的なものに置き換えて端的に示したものの

問7 傍線部オ「イメージによって人間は行動し、イメージが行動の具体的な細部まで指導している」とあるが、この考えを筆者よりも前に示した人物とその説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

6

- ① ワトソンが行ったネズミによる実験によって確立されたように、人間は刺激を受けて反応するシステムである。
- ② ユングが述べるように、イメージは人間の内的現実であり、イメージを理解することがその人を理解することにつながる。
- ③ ベネディクトが示したように、諸外国からの日本人に対するイメージをまとめることでその行動を理解することができる。
- ④ K・E・ボウルディングは精神分析学を前提に、人の行動はイメージにもとづいていと述べた。

問8 本文の内容に最も合致するものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

7

- ① イメージは眼のまえに見える物そのものから形作られ、その人の「ヒトとなり」となる。
- ② ある人に対するイメージはその人の「ヒトとなり」となって言動として表れる。
- ③ 「ヒトとなり」とは、その人のイメージの蓄えが必要に応じて半ば習慣的に出てきたものである。
- ④ イメージは人の内的現実を形成しており、「ヒトとなり」という外的現実には影響しない。

問題二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

自己決定の詐術

僕の知り合いの会社経営者から聞いた話ですけれど、アルバイトを何十人か雇っていて、その中になかなか優秀な若者がいたので、「正社員にならないか」と誘ったら、断られたそうです。アルバイトならいつでも辞められるけれど、正社員になったら辞めにくくなるからいやだというのがその理由。

もう一つは知り合いの若いサラリーマンの話。仕事ぶりを買われて、上司から新しいプロジェクトの責任者になってくれと頼まれたら、彼は会社を辞めてしまいました。責任あるポストに就いたら自由がなくなるといのが本人の告げた理由でした。仕事を抜け出してコンサートに行ったり、繁忙期に有給休暇を取って旅行に行ったりできなくなるから。

そういう a の方が「出世」よりも大切なんだと、彼らは言います。

こういうケイコウは十年くらい前から目立ってきました。バブルのころと今では雇用状況が違ってきていますけれど、それでもメンタリテイの基本的なところはあまり変わっていない。それは「自分のことは自分が決める」という自己決定権に対する固執 ア です。

自己決定したことであれば、それが結果的に自分に不利益をもたらす決定であっても構わない。

ある種の「自己決定フェティシズム」です。

これの典型は医療現場での「インフォームド・コンセント」だと思えます。いくつかの治療法の選択肢が医師から患者に示されて、患者が「この治療法がいい」と納得したものを施術する。僕はどうしてこんなことが医療現場で推奨されるのか意味がさっぱりわからなかったのです。医者はプロなんですから、「あなたの症状にはこの治療法がいちばんです」とタイコバン 2 を押してくればいい。こちらは何しろ病気でへたばっているわけですから、そんなときに治療法を選択について知恵を絞れといわれても困る。でも、インフォームド・コンセントが始まったアメリカでは事情が違うということをアメリカ育ちの友人から教えてもらいました。彼はバイクの事故で肩の骨を折ったのですが、病院で治療法がいくつか示された。そこで病院の図書館にもってさまざまな文献を破して、「この治療法がベスト」というのをみつけて、それを医師に告げて手術してもらった。「あんなに真剣に本を読んだのは久しぶりだったよ」と彼は晴れ晴れと語っていました。

なるほどね、と僕は思いました。彼の場合は、治療法を自己決定したということがもたらすセルフ・エスティームがあきらかに心身のパフォーマンスを向上させている。ですから、彼が仮にベストではない治療法を選択した場合でも、「決定を下したのは私である」という自尊心がそのマイナスを補って、おつりがくる。

そういうものだと思うんです。

つねに正しい選択肢を選ぶことができるから自己決定が推奨されるのではない。「私は私の運命の支配者である」という自尊心のもたらす高揚感が、間違った選択肢のもたらす心身のダメージをカバーできる限り、自己決定は有用である。

b、「自己決定することはいついかなる場合でもよいことである」という信憑³が社会全体に根づいている社会では、自己決定は多くのプラスをもたらす可能性が高い。でも、そうではない社会ではそうではない。そして、日本はそういう社会ではない。ある意味、単純な話です。

不条理に気づかない

c、「自己決定することはそれ自体「よいこと」である、という思想が社会の一部においては支配的なイデオロギーとして定着しつつある。これは事実です。

d、「その一方で、日本人は骨の髄まで集団志向ですから、「自己決定することそれ自体がよいことである」という思想を「みんな」が共有⁴することが声高に求められている。

どう考えても、ここには「ねじれ」があります。

「自己決定」というのは、「他の人が何と言おうと、私は私の決めた通りのことをやる」ということですけれど、今日本で語られている自己決定論というのは、「『他の人が何と言おうと、私は私の決めた通りのことをやる』というのを『みんなの』^eにしませんか？」というものです。

これ、変ですよね？

「私は誰の同意も得ずに好きなことをやります」と宣言した人が「この点について、ぜひみなさんのご同意を賜りたい」と言い出したら、おかしいでしょう。

日本人の語る自己決定論は、「自己決定することはよいことである」ということについての社会的合意が政府主導で形成されつつあり、「そういうのはどうかと思うなあ」という意見が圧殺されているという点であきらかに倒錯しています。どちらかというところ、政府主導の世論形成に対して「そういうのはどうかなあ」と異議を立てる人の方が自立した人であり、自己決定志向の強い人ではないかと思うんですけど、そういうふうにはどなたも考えない。

僕が「自己決定フェティシズム」というのは、そういうことです。「自己決定すること」が国策として推奨され、イデオロギーとして子どもたちに他律的に注入されているという事態のことです。

「みんな自己決定する時代なんだから、君もみんなと同じように、自己決定しなさい」という命令のありようそのものが論理的にハタン⁵していることにふつうなら気がつきそうなはずですけど、子どもたちは（子どもだから）それに気がつかない。選択を強制されていながら、選択したことの責任は自分でかぶることを強いられている。これはどう考えても不条理です。でも、子どもたちはそのことを特に不条理だとも思っていない。なぜなら、「そういう不条理な目に遭っている仲間」がたくさんいるからです。不条理が現実のものであり、ある程度以上の人間によって引き受けられていると、それはもう不条理のようには見えない。「世の中、そういうもんだ」と思うようになる。

日本型ニートはそういう文脈で生まれてきた社会集団だろうと私は思います。

日本型ニート (Neet=not in education, employment or training) は別のようない「自己決定」する若者たちの中の一つの病態として考察されるべきものだと思います。

問1 傍線部1、2、5のカタカナを漢字に直し、傍線部3、4の漢字のよみをひらがなで、それぞれ記述式解答欄に記入しなさい。

1 [F] 2 [G] 3 [H] 4 [I] 5 [J]

問2 空欄 [a] に当てはまる語として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 責任
- ② 自由
- ③ 努力
- ④ 享楽

[8]

問3 傍線部ア「固執」のここでの意味として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 自分の考えや意見を公にせずに行動に出ること
- ② 自分の考えや意見をかたく守ってまげないこと
- ③ 不条理な考えや意見にとりつかれること
- ④ 考え方に意地悪さがあり腹黒いこと

[9]

問4 傍線部イ「医療現場での『インフォームド・コンセント』」に対する筆者の見解として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

[10]

- ① インフォームド・コンセントは、患者に自分で治療法を自己決定したと錯覚させるものである。
- ② インフォームド・コンセントは、病気で苦しむ患者のみならず医者に対しても負担をかける。
- ③ インフォームド・コンセントは、その有用性をアメリカで示されているため、日本でも取り入れたほうがよい。
- ④ インフォームド・コンセントは、自己決定を良しとする考え方が表れているよい例である。

問5 空欄 [b]、[c]、[d] に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

[11]

- ① b だから c すなわち d また
- ② b けれども c すなわち d しかし
- ③ b だから c たしかに d しかし
- ④ b けれども c たしかに d また

問6 空欄 e に当てはまる語として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

12

- ① ルール
- ② 法律
- ③ 同意
- ④ パワー

問7 傍線部ウ「これ、変ですよね？」と筆者が主張する理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

13

- ① 自己決定は他人の同意を必要としないはずだから
- ② 自己決定の世論形成に横槍が入るから
- ③ 「日本人は骨の髄まで集団志向である」という時代は終わったから
- ④ 自己決定によってつねに正しい選択肢を選ぶことができるから

問8 本文の内容に最も合致するものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

14

- ① 正しい選択肢を選ぶことができるから自己決定は推奨されてきた。
- ② 日本でも誰もがみんなと同じように自己決定するべきである。
- ③ 自己決定論のねじれは、日本型ニートの誕生にも影響を与えた。
- ④ 日本型ニートは、異議を立てることができる自己決定志向の強い人の末路である。

(以上)